道路ネットワークの機能強化について

【担当省庁】国土交通省

〔インターチェンジアクセス道路等の整備〕

○新名神高速道路の全線開通（令和５年度予定）の効果を府域に行き渡らせるため、**関連アクセス道路及び城陽スマートインターチェンジの同時供用に必要な予算を集中的に配分**いただきたい。

〔新たな広域道路交通計画の策定〕

○**新たな広域道路交通計画を地方の声を十分に反映した上で策定し、重要物流道路及び広域的な代替路等を早期に追加指定**していただくとともに、それらの道路の**機能強化及び重点整備のため、必要な予算を確保**いただきたい。

○**堀川通（国道１号）の交通円滑化等**に向けた新たなバイパストンネルの可能性等の調査を進め、**早期の計画策定**をお願いしたい。

○**京都都市圏の交通課題（亀岡方面や大津方面）**について、交通集中の緩和や災害時のリダンダンシー確保のため、**具体化に向けたルート検討等の調査**を進めていただきたい。

【現状・課題等】

・サプライチェーンの国内回帰など、WITHコロナ、POSTコロナ社会を支え、国土をフル稼働させる道路ネットワークの機能強化が必要

・国道 307 号などのアクセス道路事業（補助事業）については、橋梁やトンネルなどの大規模な工事を控え、令和３～５年度に事業費のピークを迎える。

・災害時にも物流を支える広域的な代替路として考えられる国道 162 号、国道 176 号、国道 423 号等が現在指定されていないなど、早期の追加指定が必要

・堀川通（国道１号）の慢性的な渋滞に対して、国において短期的対策を順次実施されているが、引き続きバイパス整備等の機能強化の検討が必要

・亀岡方面、大津方面ともに、過去に高速道路と一般道の同時通行止めが複数回発生しており、特に、国道９号（亀岡市～京都市）においては、平成 30 年７月豪雨時に京都縦貫自動車道及び国道９号の通行止めに加え、JR山陰本線の運転見合わせもあり、往来が不可能となった事案あり

・亀岡方面、大津方面ともに市街地において慢性的な渋滞が発生している。

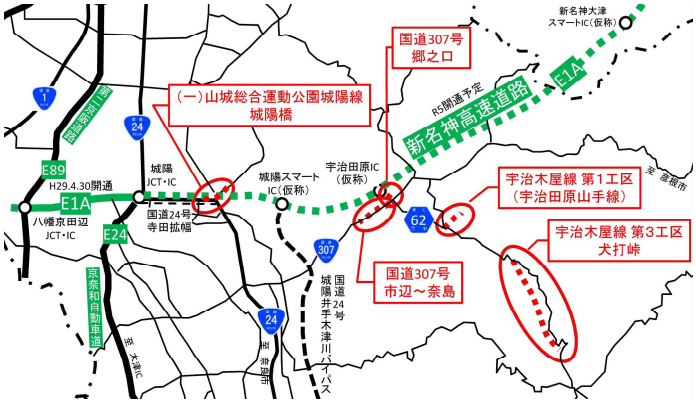
京 都 府の担当課	建設交通部 道路計画課(075-414-5246)

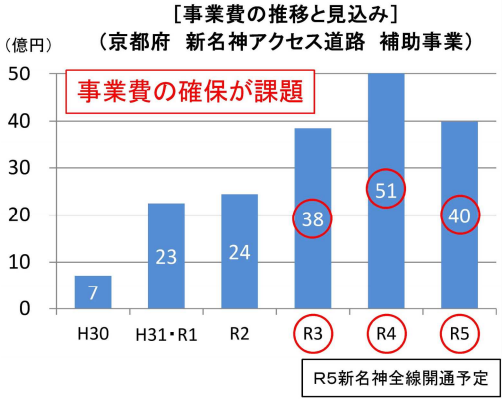
【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

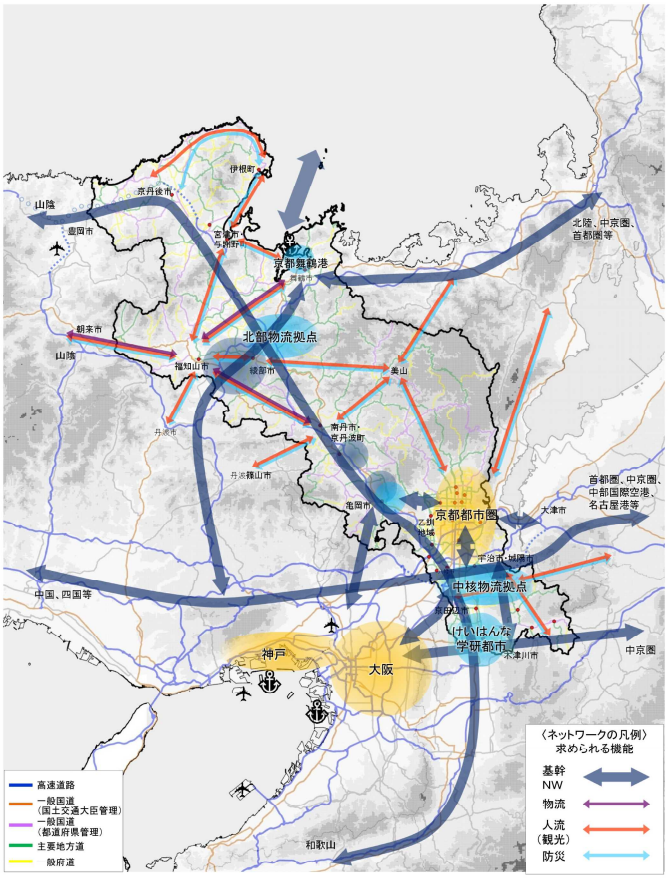
- ▶ 直轄事業 改築その他　10,574 億円（令和２年度予算 10,675 億円）
- ▶ 補助事業 ICアクセス等　2,060 億円（令和２年度予算　2,152 億円）

■新名神高速道路周辺のアクセス道路整備





■京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク



・平成 30 年 11 月に設置した京都府将来道路ネットワーク検討委員会の議論等を踏まえ、京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク、中長期的な道路整備の方向性等を示す「京都のみち 2040」を策定（令和元年 12 月）

・京都府の将来に必要な広域道路ネットワークの中で、<u>京都市～亀岡方面及び京都市～大津方面</u>については、<u>「人流（観光）」、「物流」、「防災」の視点から必要な基幹リンク</u>として位置付け